

トルクメニスタン概要

(一社)ロシアNIS貿易会
2022年7月現在

1. 基本情報

- (1) 地勢： 旧ソ連中央アジアの南西部、北はカザフスタン、ウズベキスタン、南をイラン、アフガニスタンと国境を接し、西はカスピ海を臨む。国土の80%をカラクム砂漠に覆われている。石油、天然ガス等の資源に恵まれている。
- (2) 面積： 48万8,000km² (日本の1.3倍)
- (3) 人口： 610万人 (2021年/国連人口基金)
- (4) 首都： アシガバード市
- (5) 主要都市： アシガバード (100万人) (2008年8月/大統領府)、トルクメナバード (25万人)、ダショグス (21万人)、マルィ (15万人) 等 (2004年/CIS統計委員会)。
- (5) 民族： トルクメン系 (85%)、ウズベク系 (5%)、ロシア系 (4%) など (2003年推計値/CIA World Fact Book)。
- (6) 言語： 国家言語はトルクメン語 (テュルク諸語に属し、トルコ語やアゼルバイジャン語に近い)。ロシア語も広範に使用される。
- (7) 宗教： 主にイスラム教スンニ派。



2. 政治情勢

- (1) 独立
1991年10月 ソ連邦解体とともに独立。
(それまではソ連邦を構成するトルクメン・ソヴィエト社会主義共和国)
- (2) 大統領
S. ベルディムハメドフ (BERDYMUKHAMMEDOV, Serdar Gurbangulyyevich)。1981年生まれ (40歳)。2011年ロシア連邦外務省付属外交アカデミー国際関係学部卒業、2014年トルクメニスタン科学アカデミー修了 (工学博士号取得)。2019年6月~2020年2月アハル州知事。2020年2月~2021年2月トルクメニスタン工業・建築大臣。2021年2月~副首相 (デジタル・イノベーション発展担当) 兼最高監督院議長、2021年7月~2022年3月副首相 (経済・財務・石油ガス担当)。2022年3月トルクメニスタン大統領選挙により大統領に就任。

3. 経済状況

- (1) 経済水準
 - (イ) GDP : 456.1億ドル (2020年)。
 - (ロ) 国民1人当たりGDP : 7,674ドル (2020年推計値)。

(2) 主要産業・輸出品

(イ) 主要産業：石油・天然ガス採掘、綿花栽培、牧畜

(ロ) 主要輸出品：天然ガス、石油、石油製品

(3) 経済指標

表1 トルクメニスタンの主要経済指標

(前年同期比実質増減率、%)

| | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 |
|----------------------|----------|----------|---------------------|--------|-------|------|
| 国内総生産(GDP)(前年比増減率、%) | 6.2 | 6.5 | 6.2 | 6.3 | 5.9 | 6.2 |
| 固定資本投資(前年比増減率、%) | 0.4 | ▲8.8 | ▲22.2 ¹⁾ | … | … | … |
| 商品小売販売高(前年比増減率、%) | 17 | 19 | 20 | … | … | … |
| 輸出(100万ドル) | 7,520.1 | 7,787.9 | 11,650.9 | 16,936 | 7,690 | … |
| 輸入(100万ドル) | 13,176.8 | 10,188.6 | 5,322.9 | 5,832 | 5,926 | … |

(注) 1) 1～10月の前年同期比。

(出所) IMF、CIS統計委員会、トルクメニスタン国家統計委員会

4. 貿易・投資

(1) 貿易

(イ) 貿易額

輸出(2020年)：76億9,000万ドル(トルクメニスタン国家統計委員会)。

輸入(2020年)：59億2,600万ドル(トルクメニスタン国家統計委員会)。

(ロ) 主要貿易国

輸出：中国、イタリア、アフガニスタン、ロシア、トルコ(トルクメニスタン国家統計委員会)

輸入：トルコ、ロシア、アラブ首長国連邦、中国、日本(トルクメニスタン国家統計委員会)

(2) 日本との関係

(イ) 2019年度までの日本の累計援助額は有償、無償、技術協力あわせ約64.4億円。

(ロ) 日本との貿易

日本の輸出(2020年)：123億5,100万円(原動機、発電機、自動車)

日本の輸入(2020年)：8,300万円(衣類、計測機器類、電算機類)。

(ハ) 在留邦人数(2021年10月現在)：32人。

※数値の出所は特に断りのない限り、IMF、日本外務省、日本財務省。